

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要				事業開始年度 H17. 8~	
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	根拠法令・例規等
	中項目	基本施策	02	自然と共生するまちづくり	
	小項目	施策	01	環境保全	
事務事業名		05	まほろば事業	問合先	担当課(室) 環境課 職・氏名 保全係長・牛屑裕二 電話 64-1822

事業の実施	対象(誰・何に対して)	備前市内の事業所及び成人居住者
目的(何のために)	環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の推進 地球温暖化の原因となっている温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を削減しながら 地域経済の発展につながる活動を行えるよう支援する	
行政活動(どのような方法で)	モデル事業の受け皿となる「備前みどりのまほろば協議会」の事務局運営 事業の普及啓発および設備管理運営	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	まほろば事業で導入された設備によるCO2削減効果を増やす	

事業の実績								
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績			
	環境省との交渉	回	1	2	1			
	施設の事前調査	箇所	30	30	5			
	設備設置	箇所	20	28	1			
実績	直接事業費	千円	0	86	0			
	必要人員(人件費)	千円	1.10人	9,640	0.70人	5,248	0.30人	3,279
	事業費		9,640	5,334	3,279			
	国・県・支・出・金							
	受・益・者・負・担							
結果	財源	千円						
	線入金							
	市金							
	その他()							
	一 般 財 源		9,640	5,334	3,279			
受 益 者 負 担 比 率	%							
結果指標①								
設備導入箇所	説明	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績				
結 果 指 標 量	箇所	20	28	1				
対 前 年 比	%	-	140.0%	3.6%				
活 動 コ ス ト	円	9,640,000	5,237,000	3,279,000				
単 位 当 たり コ ス ト	円	482,000	187,036	3,279,000				
結果指標②								
事業による設備投資額	説明	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績				
結 果 指 標 量	円	175,980,000	344,614,000	29,400,000				
対 前 年 比	%	-	195.8%	8.5%				
活 動 コ ス ト	円	9,640,000	5,237,000	3,279,000				
単 位 当 たり コ ス ト	円	0	0	0				

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
年間CO2削減量	目標値(A)	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績値(B)	76	522	666	到達目標年度
	達成率(B/A)	7.6%	52.2%	66.6%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
CO2削減効果を電気や灯油等の使用料から算定					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		B
市の関与の 妥当性 必要性	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識	
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	温暖化防止対策の先進的プロジェクトとして他市からも注目を集めている。	
効率性の 評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	C
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識	事業投資が終了し、運営に切り替わっているため活動実績や結果指標の見直しが必要となっている
有効性の 評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	A
			判定理由・課題認識	市の持ち出しがほとんどなく地域経済に貢献できていることは評価できおり、後継となる事業も行われている

平成21年度状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②	成果指標量	整理統合	休止	廃止・完了
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	休止	廃止・完了
説明	一部事業延長があり 事業実施後の効果測定期間が平成22年度末まで3年間始まる					

総合評価		評価区分<A~E>	B
3年限定の事業であるが一部4年目に事業延長された。温暖化防止対策の先進的プロジェクトとして全国からも注目を集めており、市内への事業投資効果も現れ始めていて、今後の事業運営管理が必要となっている。			

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	3年限定の事業であるが一部4年目に事業延長された。初年度はハードウェア会社設立等の準備に費やされ、2年目に実質事業着手を行なった。その成果をいかに住民にPRできるかが今後の目標達成のポイントになると考えられる。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	事務局及び管理体制の簡素化を図る	22年度	職員の事務従事量を減らせる		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。